

富山高等専門学校		開講年度	令和05年度(2023年度)	授業科目	環日本海諸国語VB(中国語)
<b>科目基礎情報</b>					
科目番号	0109		科目区分	一般 / 選択	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	国際ビジネス学科		対象学年	3	
開設期	後期		週時間数	2	
教科書/教材	「中国語さらなる一歩」				
担当教員	星野 朱美				
<b>到達目標</b>					
(1) 準中級レベルの文法、語彙などの習得をする (2) 準中級レベルの中文和訳、和文中訳ができる能力を身につける。 (3) 準中級レベルの文章を聞き取れ、更に中国語で答えることができる能力を身につける。					
<b>ルーブリック</b>					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	準中級レベルの文法構造を理解し、正確に中文和訳と和文中訳ができる。		準中級レベルの文法構造を殆ど理解し、中文和訳と和文中訳がほぼできる。		準中級レベルの文法構造が殆ど理解できず、中文和訳と和文中訳ができない。
評価項目2	日常な会話を聞き取れ、正確に連続な会話の応対ができる。		日常な会話を聞き取れ、連続な会話の応対がほぼできる。		日常な会話を聞き取れず、連続な会話の応対がほぼできない。
<b>学科の到達目標項目との関係</b>					
<b>教育方法等</b>					
概要	学習目標(授業の狙い) (1) 目標 基礎的な文法、語彙などの習得を目的として、準中級レベルの中文和訳、和文中訳ができる能力を身につける。 (2) 概要 「聞く」「話す」「読む」「書く」の四つの分野における中国語の力を養うために、学生は基礎的な文法、やや頻度の高い語彙・表現を用いた文章を習得しながら、発音・リズム・イントネーションの指導を受ける。				
授業の進め方・方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予習、復習、課題を前提とし、講義を中心に進める。</li> <li>・ 学生の会話の完成度を確認しながら講義を進める。</li> <li>・ 会話の練習、小テストや発表を実施する。</li> </ul> 事前に行う準備学習：前回の講義の復習および予習を行ってから授業に臨むこと (授業外学習・事前) 授業内容を予習しておく。 (授業外学習・事後) 授業内容に関する課題を解く。				
注意点	<追認試験の評価方法と評価基準> 評価が60点に満たない者は、願い出により追認試験を受けることができる。追認試験の結果、単位の修得が認められた者にとっては、その評価を60点とする。評価方法および評価基準は本試験と同じとする。				
<b>授業の属性・履修上の区分</b>					
<input checked="" type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
<b>授業計画</b>					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	ガイダンス ・シラバスの説明 ・第9課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本科目の概要を理解する。</li> <li>・ 単語、本文の要点を説明できる。</li> </ul>	
		2週	第9課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 重要な文法事項を説明できる。</li> <li>・ 会話ができる。</li> </ul>	
		3週	第9課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小テストに対応できる。</li> <li>・ 練習問題を解ける。</li> </ul>	
		4週	第10課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 単語、本文の要点を説明できる。</li> </ul>	
		5週	第10課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小テストに対応できる。</li> <li>・ 重要な文法事項を説明できる。</li> </ul>	
		6週	第10課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 練習問題を解ける。</li> <li>・ 会話ができる。</li> </ul>	
		7週	口述試験	1回から6回までの講義内容について、口述試験を実施する。	
		8週	中間試験	1回から6回までの講義内容について、筆記試験を実施する。	
	4thQ	9週	成績評価・確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 答案の返却、成績の確認</li> </ul>	
		10週	第11課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 重要な文法事項を説明できる。</li> <li>・ 会話ができる。</li> </ul>	
		11週	第11課 第11課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小テストに対応できる。</li> <li>・ 練習問題を解ける。</li> <li>・ 単語を説明できる。</li> </ul>	
		12週	第12課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本文の要点を説明できる。</li> <li>・ 重要な文法事項を説明できる。</li> <li>・ 会話ができる。</li> </ul>	
		13週	第12課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小テストに対応できる。</li> <li>・ 練習問題を解ける。</li> </ul>	
		14週	口述試験	10回から13回までの講義内容について、口述試験を実施する。	

		15週	期末試験	10回から13回までの講義内容について、筆記試験を実施する。			
		16週	成績評価・確認	答案の返却、成績の確認、答え合わせ			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	口述試験	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	20	0	0	0	10	100
基礎的能力	70	20	0	0	0	10	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0